

令和3年度 勝山市社会福祉協議会事業計画

法人運営事業(1101、1102、1103、1104)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	法人運営	法人運営	法人運営全般	第1層
財源	会費	寄附金	自主財源		
	3,296,000	365,000	9,332,000		
事業概要	予算・決算・補正予算の決議、定款・規則等の一部改正等の決議、役員研修会の開催				
事業計画	①毎月会長に収支報告書の提出 ②事業収入の安定化 ③事業経営の透明性の確保				
事業目標	経営基盤の強化を図るとともに、福祉サービスの向上を図る。また、住民や、福祉関係者等とともに地域の福祉課題・生活課題の解決に取り組む。				
見込み成果	①速やかな経営状況の判断 ②支援を必要とする方に適当な福祉サービスの提供				
課題	安定的な収益体制の構築、人材確保・育成				
R2振り返り	補助金の新規獲得に努めた。コロナ禍での労務管理など、様々な変更点に追われた				

地区社協事業(1201) (701)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	地区社協活動事業	地区社協事業	第3層(地区社協)
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業		
財源	市補助				
	4,620,000				
事業概要	住み慣れた地域でいつまでも暮らすことを目的に、小地域での身近な福祉活動拠点としての役割を持ち、きめ細かな福祉を展開する				
事業計画	地域に住む住民を対象に公民館単位を1地区社協として、公民館を拠点に福祉活動を実施。各地区の特性を大切に支援を行う				
事業目標	①月1回のコーディネータ連絡会の開催 ②地区からの相談等への援助 ③地域の課題の洗い出し ④各地区社協ごとの個別面談を実施し、連携の強化を図る ⑤職員の地域担当制を実施				
見込み成果	①地域での福祉の拠点づくり ②地域の課題を地域で話し合える ③市社協職員全体で取り組める				
課題	地域での新たな共助の仕組みづくり				
R2振り返り	R2年度で、前進した地域と、立ち止まった地域の格差が大きく開いた。地区社協コーディネーターと協力し、更に地域に対しての仕掛けを工夫していく必要性がある				

給食サービス事業(1202)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	給食サービス事業	給食サービス	第3層(地区社協)
財源	市委託	利用者負担金			
	2,500,000	1,250,000			
事業概要	65歳以上の一人暮らしの方、または65歳以上の高齢者のみの世帯の方、もしくは、65歳以上の高齢者と障害者のみの世帯で調理が困難で見守りが必要な人に対し、各地区社協ごとに給食サービスを提供する				
事業計画	地区社協を中心に事業を実施する。市社協はコーディネータの相談役やボランティア活動者に必要な研修の実施。市の受託事業に当てはまらない方にも提供できるような仕組みづくり。生活支援体制整備事業の導入に伴う給食サービスの在り方、活動等の研究				
事業目標	感染症対策を施し、手作り弁当の再開に向け、行政と調整を図る				
見込み成果	民生委員による定期的な見守りの一環。ボランティアの生きがいづくり。見守りが必要な方の発掘。広域的なサービスの提供				
課題	コロナ禍で、公民館の調理室が使えなくなり、1年間、市内の業者に弁当を発注した。給食ボランティアの活躍の場が失われたことで、活動者のボランティア活動への意識や意欲が低下した。現在単価(1食540円)では、請負業者も限られてきており、今後のサービス内容の見直しの必要性を感じる				
R2振り返り	一度も手作り弁当を提供できなかった				

福祉救援活動事業(1204)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	福祉救援活動事業	福祉救援活動事業	第1層(全市)
財源	共同募金	前期繰越			
	9,000	91,000			
事業概要	災害に備えた物資の準備並びに研修への参加を実施する。また、災害発生時には職員を現地に派遣する				
事業計画	勝山市災害ボランティアセンター連絡会を活用し、災害対策のための研修や訓練を積み上げる。また、他の地域で災害が発生した際には職員を派遣できるよう、スキルを積む。SNSの活用、いち早い情報伝達方法等を常に検討し、災害に備える				
事業目標	災害ボランティアセンター運営ガイドラインの周知、災害ボランティアコーディネータの養成				
見込み成果	運営ガイドラインに沿って繰り返し訓練を行うことで、有事に備えられる。SNS等を活用することで、スムーズな対応が期待できる				
課題	災害ボランティアコーディネータを増やすこと。災害時に社協事業が推進できる体制づくり				
R2振り返り	コロナ禍で以前より行ってきた研修や設置運営訓練等の実施ができなかった。大雪で災害VCを設置したが、構成団体・協力団体の協力を得ることができず、意識付けをどのように行くと良いか課題に感じた				

住民参加型在宅福祉サービス和美さん(1206)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	住民参加型在宅福祉サービス	住民参加型在宅福祉サービス和美さん	第1層(全市)
財源	会費	利用料			
	5,000	110,000			
事業概要	住民の連帯並びに相互扶助を推進することを目的に、サービスを有料制で行い、在宅福祉の増進を図る				
事業計画	勝山市民を対象に登録制を取る。制度に区切ることなく公的サービスでは補いきれない部分や、子育て支援の部分等に対応していく				
事業目標	訪問A型への移行の検討				
見込み成果	訪問A型への移行の検討、市民力の活用				
課題	担い手の確保、他のサービスとの住み分け				
R2振り返り	コロナ禍で入院しても家族が来所できず、メールや郵送での利用申し込みにも対応した				

地域ふれあいサロン(1207)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	地域ふれあいサロン事業	地域ふれあいサロン事業	第3層(地区社協)
財源	市委託				
	4,234,000				
事業概要	「歩いていける。そこに行けば気心の知れた仲間がいる」という観点から、高齢者の生きがいや社会参加、健康づくり、閉じこもり防止を目的に集まる場所を提供する。各地区社協と共に取り組む				
事業計画	地区社協若しくは集落単位、近隣住民で地域特性を活かしながら、サロンを実施する				
事業目標	楽しさ、生きがい、社会参加、見守り・見守られる場の提供				
見込み成果	地域の見守りの場、介護予防としての効果が期待できる				
課題	参加者が「お客さん」にならない意識付けをどれだけ広められるか。負担感なく行えるサロンへの移行。目的の再認識の必要性。集まらなくてもできる繋がりづくりの模索				
R2振り返り	R2.5月までのサロン事業中止により、開催回数が減少し、市への委託金の返還が生じた。5月以降については、開催を重ねた地域と、開催できなかった地域の差が激しくなった				

日常生活自立支援事業(1208)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	日常生活自立支援事業	日常生活自立支援事業	第1層(全市)
財源	県社協委託	その他(利用料)	事業		
	7,472,000	1,152,000	13,000		
事業概要	自立して地域で生活が送れるよう、福祉サービス利用、日常的な金銭管理などを支援				
事業計画	日常的な金銭管理、相談、支援。関係機関との連携。生活支援員の資質向上研修				
事業目標	本人を中心にした支援の実施。成年後見制度利用への見極め				
見込み成果	安心して地域で暮らし続けられる				
課題	家族関係が薄い利用者に対しての支援の限界。地域支え合いの仕組みづくり。将来を見据えた生活体制づくり				
R2振り返り	将来を見据えた生活設計(収支計画等)の必要性を理解して盛ることが難しかった。将来的に地域での生活が難しくなる可能性がある利用者に、今のうちから備えていけるように支援をしていく必要性を感じた。				

福祉総合相談事業(1209)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	福祉総合相談事業	福祉総合相談事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	1,464,000				
事業概要	生活の困りごと、法律に関わること、労働や年金に関わることについて専門相談を実施する。また、一般の相談については、職員が随時対応し、解決や専門機関につなげる				
事業計画	全市民を対象に毎月第2・第4水曜に弁護士による法律相談の実施、毎月第1水曜日に社会保険労務士による年金、労務相談を実施する。平時の相談については職員が対応する				
事業目標	総合相談窓口として、区切ることなく、あらゆる相談に対応する。受付けた事案を必要な関係機関につなげ、本人の困りごとの解決に結び付ける				
見込み成果	①弁護士不在の当市においては、身近で弁護士相談が受けられ、安心につながる ②相談種別を分けずに総合相談として受け、世帯の困りごとを把握、関係機関等へつなげることで、本人が安心して暮らせる ③相談を専門相談や関係機関へ結び付け解決を図る				
課題	地域で拾った些細な話でも安心や解決に向けて相談にのり、関係機関へつなげるなど職員の相談力を高める				
R2振り返り	4、5月は電話対応のみの相談となった。どのような状況にあっても相談者はおられるので、感染症対策をとり対応した				

家族介護支援事業(1211)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	
	法人運営	地域福祉推進事業	家族介護支援事業	家族介護支援事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	1件 5,400円				
事業概要	介護の専門家を対象家庭に派遣し、介護の方法の指導や相談を行う				
事業計画	介護の専門家を介護に困っている家庭に派遣し、介護方法の指導や相談を行う				
事業目標	適切な介護指導を行う。更なる事業周知をすることで、この事業を活用してもらう				
見込み成果	①介護ストレスの軽減 ②介護の専門家による相談を行うことで気持ちが楽になり、虐待防止につながる				
課題	申込件数が少なく、この事業の周知不足がある				
R2振り返り	この事業を利用し、訪問サービスにつながったケースや訪問サービスの利用を開始してから支援事業につなげたケースもあった。この事業を利用し、自信につながった方もいる				

勝山市訪問型サービスA事業(1212)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	地域福祉推進事業	勝山市訪問型サービスA	勝山市訪問型サービスA	第1層(全市)
財源	市委託	利用料			
	70,000	7,000			
事業概要	介護認定の対象外であるが、勝山市が家事の一部援助を必要と認めた方への必要な家事支援				
事業計画	介護認定で自立と認定された方で、勝山市が家事援助を必要と認めた方に家事支援サービスを行う。本人の意欲を引き出し、地域での生活が継続できるよう、定期的に訪問し、支援サービスと共に必要なアドバイスをする				
事業目標	自立した生活が継続できる支援				
見込み成果	自立した生活が継続できる。関係機関と連携を取り地域での生活が継続できる				
課題	対応できる人材の開拓(専門職の訪問介護員が減少する中、事業を維持する工夫)				
R2振り返り	コロナ禍で、感染予防に努めながら訪問を実施した				

ボランティアセンター事業(1301)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	ボランティアセンター事業	第1層(全市)
財源	自主財源	その他(チャリティ映画)			
	190,000	119,000			
事業概要	地域での助け合い、生きがいを目的にボランティア活動する団体、個人をボランティア活動先とマッチングする。また、ボランティア育成のための研修を実施する				
事業計画	①企画・広報部会、全体運営委員会を開催し、事業について運営委員会で協議しながら進める。②運営委員参加のもとボランティアセンター主催のイベントを開催し楽しむ。③ボランティアセンターキャラクター「コドン」を使い、センターの認知度を上げる。(ストラップ、ファイル、コドンパンなどの物品販売)。④チャリティ映画会を実施し、活動財源を確保する				
事業目標	勝山市で暮らすあらゆる世代の「つながる力」を育んでいくために、地域を基盤としたボランティアセンターの運営を行う。市内の学校や企業に「福祉」についての関心を高め、若い層の方にボランティア意識を高めてもらう				
見込み成果	団体交流会や研修会を通して、ボランティア同士のつながりや新たな活動を知る。キャラクターを通して勝山ボランティアセンターを知ってもらい、ボランティアの拡大につなげる				
課題	活動者一人ひとりとの関わりが持てない。若い層のボランティア意識を高める活動先の発掘				
R2振り返り	全体会や各部会は何とか開催ができた。チャリティー映画は全体会で協議の結果中止となった。また、年の市も中止となり周知活動ができなかった。全体的に活動の場を制限された一年だった				

勝山ボランティア団体交流会(1301)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	勝山ボランティア団体交流会	第1層
財源	自主財源	参加費			
	30,000	30,000			
事業概要	勝山ボランティアセンターに登録されているボランティア団体同士の交流会				
事業計画	年に1回、活動の参考となる講座等を行いながら交流・情報交換を行う				
事業目標	自身の健康を維持しながら、他の団体の活動を知り、ボランティア同士のつながりを強める				
見込み成果	ボランティアが健康維持しながら活動の継続ができ、ボランティア団体同士のつながりを強化する。交流情報交換を通して、お互いの活動の参考にする				
課題	交流会への参加が遠のいている団体もある。企画を工夫したくさんの団体に参加してもらう				
R2振り返り	コロナ禍による開催であったが、団体数・参加人数ともR1年より増えた。活動先の自粛により、活動場所がない団体もあった。活動へ結びつけられるような働きかけが必要と感じた				

チャリティ映画会(1301)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター運営事業	チャリティ映画会	第1層(全市)
財源	その他(チケット売上)				
	700,000				
事業概要	映画を上映し、その収益をもってボランティアセンター活動の事業を推進する				
事業計画	①勝山ボランティアセンター広報部会にて、協議し上映作品を決定する ②関係機関等に整理券配布の協力を依頼、市民会館にて1日2～3回の上映を実施する ③障害者支援施設等の物品販売の場所の提供も併せて行う ④ボランティアセンターや運営委員の活動紹介、併せてボラセンキャラクター「ココドン」グッズなどの販売				
事業目標	市民の方に映画を見て楽しめる機会を作る。収益はボランティアセンター活動に充てる				
見込み成果	高齢者や遠出できない方への娯楽の機会となる。活動の周知、財源確保の場				
課題	R1.2と上映が中止(経費分の赤字)になった。収益も見込めない中、このままボランティアセンターで実施していくべきかの検討が必要と感じる				
R2振り返り	整理券方式を導入。上映は中止になったが、払い戻しの作業もなくスムーズに対応ができた				

ボランティアセンター預託事業(1302)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	ボランティアセンター預託事業	ボランティアセンター預託事業	第1層(全市)
財源	その他(寄付)				
	60,000				
事業概要	市民からの寄付金・物品の受入、払い出し。市内で火災の際、見舞金などを出す				
事業計画	寄付金品の受入、払い出しについては、寄付者の意向に沿う				
事業目標	寄付者の意向に沿った取扱い				
見込み成果	迅速に対応することで、払い出し先のニーズに合った支援ができる				
課題	ボランティアセンターに預託された資金の活用				
R2振り返り	払い出しのニーズに答えることができた。迅速に対応することができた				

すこやかフェスタ(1304・1404)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	つながりの輪づくり推進事業	すこやかフェスタ	第1層(全市)
		共同募金配分金事業	福祉育成援助事業		
財源	共同募金	県社協委託			
	675,000	68,000			
事業概要	「すこやかフェスタ」で、たくさんの方々に「ふれあい・交流」を通して、「福祉」を感じていただく機会とする。併せて地域には様々な人が暮らしていることの理解を深める場とする				
事業計画	実行委員会を設置し、企画運営を行う。感染症対策を行いながら市内小中学生にボランティア活動体験の場の提供、きっかけづくりとする				
事業目標	広く市民に福祉や健康、生活等について知ってもらう				
見込み成果	地域には様々な人が暮らしているという意識づけになる。親世代や祖父母世代等「ふくし」に関わりの薄い人たちへのPRの場になる				
課題	幅広い世代の方々に楽しみながら参加できる企画				
R2振り返り	コロナ禍にて中止となった				

地域いきいきボランティアポイント事業(1305)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	ボランティア活動事業	地域いきいきボランティアポイント事業	地域いきいきボランティアポイント事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	1,612,000				
事業概要	高齢者の社会参加や生きがいづくりを促進するために、高齢者に関するボランティア活動をポイント制にし、集まったポイントを商品券などに換金する				
事業計画	40歳以上の市民の方を対象に(介護保険料の未納者は対象外)登録していただき、活動先の紹介をし、ボランティア活動を行ってもらう。広報や研修の場などで事業のPRを行い、参加者を増やす。研修を実施し、活動の幅を広げる				
事業目標	研修会開催をきっかけに若年層の新たなボランティアの発掘と活動の場を広げる				
見込み成果	新たなボランティアの発掘により、ボランティア活動が活性化され、住みやすい町を目指す				
課題	40代～定年を迎える方のボランティア人口を増やす。活動の場とボランティアのマッチング				
R2振り返り	コロナ禍で多くの登録者が活動の場を制限され、ポイントを集めることができなかった				

福祉車両貸出事業(1402)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	障害児・者福祉活動事業	福祉車両貸出事業	第1層(全市)
財源	共同募金	負担金			
	363,000	33,000			
事業概要	車椅子対応の福祉車両の貸出				
事業計画	在宅・施設入所者問わず、常時車椅子を使用しなければ移動が著しく困難な方に対し、使用料無料にて車両の貸し出しを行う。燃料代は自己負担、運転者は利用者が確保する。市内・市外問わず利用ができ、外出の機会の確保を図る				
事業目標	車両の使い道に制限を設けず貸し出すことで、利用者の社会参加を図る。車両のメンテナンス、管理を行い市民に気持ちよく利用してもらう				
見込み成果	車椅子の方がそのまま乗車できる車を貸し出すことで、本人、介護者の移乗への負担が軽減される。外出にて行動範囲が広がり本人の社会参加やリフレッシュになる				
課題	車両貸し出しサービスを当社協以外でも実施できないか、働きかけが必要。車両の老朽化が進み、入れ替えが必要				
R2振り返り	利用については口コミでの広がりを感じるが、更なる周知の必要性を感じた。貸出しの手順を変更したが、混乱はなく昨年度よりスムーズに行えている				

介護用機器貸出サービス事業(1402)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	障害児・者福祉活動事業	介護用機器貸出サービス事業	第1層(全市)
財源	共同募金	その他(負担金)			
	34,000	23,000			
事業概要	福祉用具、介護機器の貸し出しサービス				
事業計画	福祉用具、介護機器を必要とする人(ただし、介護保険でのレンタルが可能な方は除く)に車椅子は1か月まで100円、それ以上の方については、年／1,000円、1年経過し更新の場合は500円をいただく。ベッドについては電動ベッドのみ3,000円で貸し出す。1年を経過し更新の場合は2,000円いただく。返却されたものについては、クリーニングと点検を行う				
事業目標	清掃、点検を行い気持ちよく安全に使用してもらう				
見込み成果	在宅生活する軽度の高齢者や障害者、一時的にADLが低下している方が安全に動作でき、介護負担、費用の軽減を図る。メンテナンスにより安全安心で機器を使用できる				
課題	返却後の使用不能になった機器の処分。今後のベッド貸出し事業継続の検討				
R2振り返り	点検の結果、廃棄する車椅子が大量に出たが、廃棄の仕方によっては処分料が高額となることが分かり、迅速に処分ができなかった。今後、処分の仕方をより検討していく必要がある。ベッド貸出し事業については事業継続の検討をすることができなかった				

チャイルドシート・ベビーカー貸出事業(1403)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	児童・青少年福祉活動事業	チャイルドシート・ベビーカー貸出事業	第1層(全市)
財源	共同募金 11,000	その他(負担金) 60,000			
事業概要	チャイルドシート・ジュニアシート・ベビーカーを貸出し、子育てを応援する				
事業計画	勝山市民と帰省家族を対象に1か月以内の短期(1ヶ月)の場合、1,000円。長期(1年以内)は5,000円、長期については、1年を超えると更新料金がかかる。耐用年数が経過したものについては、買い替える。汚れを防ぐために汗パッド、ベルトカバーを使用する				
事業目標	清潔で安全な器具を貸出し、子育てを応援する				
見込み成果	貸出しにより、6歳までの使用義務化の啓発と子育て家庭の費用節減。貸出しを通じて多世帯とつながることができる				
課題	周知不足。特にベビーカーの貸し出しが少ない				
R2振り返り	コロナ禍のためか、貸出しが減少した。ベビーカーについては貸出しは0件。今後、ニーズ調査等を行い、貸出しの必要性を見極めていかなければならないと感じる				

福祉教育指導員・ゲストティーチャー派遣事業(1403)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分金事業	児童青少年福祉活動事業	福祉教育指導員・ゲストティーチャー派遣事業	第1層(全市)
財源	共同募金 70,000				
事業概要	学校の福祉学習等の際に福祉教育指導員・ゲストティーチャーを派遣し、身近なところでの「ふだんのくらしのしあわせ」を体験できる機会を提供する				
事業計画	担当教諭と打ち合わせを行う。福祉教育指導員、ゲストティーチャーを派遣し身近な福祉を知る。福祉教育指導員は、活動日誌に記録、報告をもらう。1回の派遣で2,000円の謝礼を渡す				
事業目標	地域共生社会を目指した学習づくり				
見込み成果	児童生徒が身近な福祉を学ぶ機会とする。地域に住む様々な人を受け入れ共生社会を進める。障害者、高齢者の方だけでなく皆が社会で役割を持ち自己肯定感を高める				
課題	担当教諭と話し合い、準備をする。車椅子やアイマスク体験学習がマイナスのイメージにならないよう前後学習を含めた授業の実施を提案				
R2振り返り	5月末までの休校で、福祉担当教諭連絡会も開催できず、各学校へ出向き個別に昨年度の活動状況紹介等を行った。授業日数が少なく、学校へ出向くことも難しい状況であったが、オンライン・録画での当事者との交流や啓発事業を実施した。しかし、R1年度に比べ依頼や福祉教育実施校数は減った				

福祉学習交流会(1403)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	児童青少年福祉活動事業	福祉学習交流会	第1層(全市)
財源	共同募金	その他(参加費)			
	58,000	5,000			
事業概要	ボランティアセンター運営委員会による企画。福祉を学ぶ4年生を対象に、障害を持つ方との交流の機会を持ちお互いを知る機会とする				
事業計画	市内小学校4年生を対象に年に1回障害を持つ方と料理やスポーツを通して交流を行う				
事業目標	色々な方が地域で住んでいるということを知り、お互いに理解を深める				
見込み成果	障害は特別な事ではなく、お互いに尊敬しあえる仲間であることに気づき、その人らしい生活を考える一歩とする。支え、支えあう関係づくりについて自然と気づける				
課題	R2に参加できなかった5年生の参加ができるようなプログラム作り。感染症対策をし、開催ができるような内容の検討				
R2振り返り	コロナ禍により勝山ボランティアセンター運営委員会が10月に開催された。企画部会で協議を実施したが、開催時期が悪く、他校生徒が交流することで感染リスクを伴うことが懸念され、中止とした				

福祉教育推進事業助成金交付事業(1403)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	児童青少年福祉活動事業	福祉教育推進事業助成金交付事業	第1層(全市)
財源	共同募金				
	390,000				
事業概要	市内小中学校の福祉教育の推進に役立ててもらため助成金を交付する				
事業計画	申請があった学校に対して、1校30,000円の助成を行う。助成金の使途などは5月開催予定の福祉担当教諭連絡会の際に説明。1年を通じて学校での福祉教育に有効活用していただき、事業終了後に報告書を提出していただく				
事業目標	様々な体験や学習の場の提供				
見込み成果	児童生徒に様々な体験や学習を通して、心豊かな人材が育成される機会が持てる				
課題	毎年変わらない助成金の使い方がある。財源元である共同募金活動への理解				
R2振り返り	コロナ禍により福祉担当教諭連絡会の開催ができず、各学校を回り制度説明を行った。共同募金のチラシを利用して仕組みを伝えた				

歳末たすけあい配分金事業(1405)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	歳末たすけあい配分金事業	歳末たすけあい配分金事業	第1層(全市)
財源	共同募金				
	2,033,000				
事業概要	民生委員さんに調査を依頼、準要保護世帯については教育委員会に協力を要請し、対象となる援護を要する世帯から申請をもらう。個別配分に重点を置くが、配分内容は、「歳末たすけあい配分委員会」で検討、決定される。個別配分の可否審査についても配分委員会で行う				
事業計画	配分委員会を開催し、申請のあった世帯を対象に民生委員さんを通じて個別配分を実施する				
事業目標	暖かい年末年始を過ごせるように支援する。表面化していないケースを拾い上げる。市民の方々からの寄付を大切に届ける				
見込み成果	援護を要する世帯の把握ができ、必要に応じて関係機関につなげることができる				
課題	援護を要する世帯の把握の方法について、新たな歳末たすけあいのカタチの模索				
R2振り返り	生活保護受給世帯への現物(米)配分については制度の中で「歳末一時金」が支給されることから、次年度の配分は廃止になった。また、寄付額減少に伴い、高齢者の給食サービス事業への食材費補助が次年度よりできなくなった。個別配分は1世帯10,000円を配分することができた。世帯の状況に応じ、現金ではなく、現物(米)配分で対応したところもあり、柔軟に応じることができた				

ボランティア研修会(1406)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	ボランティア活動育成事業	ボランティア研修会	第1層(全市)
財源	共同募金				
	123,000				
事業概要	内容はボランティアセンター運営委員が企画する。市内のボランティア活動者(登録者)、一般市民を対象にボランティア、地域貢献についてなど、学びの場の提供				
事業計画	市内のボランティア活動者(登録者)、民生委員、いきいきボランティア登録者等を対象に開催。活動に直接結びつくことや、生きがい、地域の結びつきなどをテーマに学びの場を提供する				
事業目標	生きがいや楽しみを持てる研修の実現				
見込み成果	新たなボランティア活動者を発掘する場。ボランティア活動者の養成。ボランティア活動者のスキルアップの機会、ボランティア活動者同士の情報交換の場にする				
課題	理解しやすい研修の形を考える				
R2振り返り	コロナ禍での開催となったが、比較的たくさんの方の申込があった				

福祉について考える情報共有会(1406)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	ボランティア活動 育成事業	福祉について考える 研修会	第1層(全市)
財源	共同募金				
	89,000				
事業概要	市内学校教諭を対象に子どもたちへの福祉教育に活かせる福祉のプログラムについて学んでいただく。同時に情報共有会を開催し、互いの取り組みを知る機会とする				
事業計画	市内の学校教諭を対象に福祉教育の研修会や前年度の取り組み内容を提供し、プログラムの作成に役立つよう情報共有会を実施する				
事業目標	「福祉」や「ボランティア」が特別なことではないことを理解する				
見込み成果	教諭に「福祉」「ボランティア」等について理解を深めていただく。学校と社協がより連携した福祉教育のプログラム作りや取組ができることで、学びの幅が広がる				
課題	当事者ボランティア等を含め、指導員の発掘				
R2振り返り	コロナ禍により、開催中止とした				

まちなかCafé運営事業(1408.701)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	共同募金配分事業	まちなかCafé運営事業	まちなかCafé運営事業	第1層(全市)
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業		
財源	共同募金	市委託			
	1,134,000	497,000			
事業概要	社会的孤立感の解消及び誰もが気軽に立ち寄れる場所として、勝山サンプラザ内に居場所を設置し、運営する。また、社会福祉法人が実施する地域貢献事業としても位置付ける				
事業計画	誰でも対象に月曜日～土曜日の午前10時～午後5時まで勝山サンプラザ2階に集まれる場所を開き、運営する(ただし火曜日、日曜日は定休)。社協職員やボランティアが常駐し、来客の相談や話し相手になる。地域の誰もが講師となり小さな教室を開催する				
事業目標	誰もが立ち寄れ、気軽に話や相談ができる場づくり				
見込み成果	高齢者だけでなく、市民誰もが立ち寄ることのできる場として提供することで様々な生活ニーズをキャッチできる。気軽に相談できる身近な場としての定着。自立ディサービスの役割				
課題	コロナウイルス感染予防策として、環境整備に伴う工事が必要とされる				
R2振り返り	まちなかcafé運営委員会も開催し、開店できる方法を模索したが、開店することはできなかった。しかし、多くの市民から開催を待ち望む声も聞かれ、新年度は開催に向け、環境整備を行いたい				

生活福祉資金貸付事業(1501)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	生活福祉資金貸付事業	第1層(全市)
財源	県社協委託 676,000				
事業概要	低所得者や高齢者、障害者の自立した生活を経済的に支えるとともに、世帯の福祉及び社会参加の促進を図る				
事業計画	相談、受付け、審査会の開催。県社協、民生委員との連携による償還指導等を実施する。また、生活困窮者自立支援センターと連携をとりながら取り組む				
事業目標	世帯が力をつけ、自立できる支援。職員の相談力スキルアップ				
見込み成果	単なる貸付ではなく、その世帯が力をつけて自立でき、償還につなげる				
課題	適切な貸し付けのための相談支援が継続してできるよう、職員のスキルアップ				
R2振り返り	コロナ禍で「緊急小口資金(特例貸付)」「総合支援資金(コロナ特例)」が追加され、これらの貸し付けが増加した。中には気になる世帯もあり、貸し付けが妥当か迷うこともあったが、国・県からのマニュアル通りに実施せざるを得なかった				

小口資金貸付事業(1502)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	小口福祉資金貸付事業	第1層(全市)
財源	自主財源 453,000				
事業概要	当座の資金不足により、生活が行き詰った方へ小口で一時資金を貸し付ける				
事業計画	一時資金の貸し付け限度額30,000円。保証人不要。資金借入相談により必要に応じて、資金繰りの相談を行う。必要があれば他機関との連携により支援を行う。返済が滞っている人には状況を把握し返済方法などの相談に努める				
事業目標	生活困窮に陥らない支援				
見込み成果	高金利ローンの借入が防げる。また、相談支援を行うことで他の困りごとなどの発見も行え、他機関との連携で、生活困窮に陥らない支援も行うことができる				
課題	返済が滞っている方への関わり				
R2振り返り	貸付と償還を繰り返す方には、生活困窮者自立支援センター相談員と共に関わった				

生活支援体制整備事業(701)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	生活支援体制整備事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	9,616,000				
事業概要	平成30年介護保険制度改正でこれまでの「要介護状態にならない介護予防」から「地域で暮らし続けるための生活支援」へと大きく改正された。これを受け、更に助け合い活動のある地域づくりのため、生活支援コーディネーターを継続して配置し、地域と共に課題解決や仕組みづくりに取り組む。併せて、まちなかcafeを核にした支援や相談体制を再構築する				
事業計画	地区社協ごとの話し合いを進めながら、研修を実施する。多くの地域の方に参加してもらえる話し合いの場の実施。課題の抽出。行政と相談しながら、仕組みの見直しを行っていきたい				
事業目標	第2層の圏域ごとに地域の課題について話し合う場を持つ(全域にて実施)				
見込み成果	地域の課題を我が事に捉え、前向きな話合いや解決方法を探る。そのことを通して、行政に頼らなくても進む小地域ごとの福祉のまちづくりを目指す				
課題	地域ですでに行われている活動への「意味づけ」、情報共有の方法。住民誰もが主役であるという意識付け(特定の人だけが頑張ることではない)				
R2振り返り	こんな時だからこそ…という課題を投げかけることができた。呼応し、地域で考える機会が増した。市社協としてはR1年度に比べ、地域へ出向く回数が増加した。しかし、地域ごとに考えが様々で、活動ができた地域とできなかった地域で格差が大きく開いた				

困りごと支援センター らいと(生活困窮者自立支援事業)(601)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立相談支援事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	10,600,000				
事業概要	生活困窮者支援法に基づき、生活に困っている人からの相談を受け、抱える課題を把握し、本人の気持ちに寄り添いながら自立した生活を支える。また、必要な人には計画を立てて支援を実施する。関係機関や市役所内の各部署の連携が図れるように働きかける				
事業計画	生活に困窮している人を対象に訪問や相談を実施し、アセスメント、プランの作成を実施する。モニタリングと再プランを繰り返し、自立へと支援を行う。スモールステップにて自信を持てる支援を続けていく				
事業目標	スモールステップにより成功体験を積み、自立に向かう支援を行う。支援会議の開催にて困窮情報を関係機関などと密にする				
見込み成果	生活に困っている方が今よりも安心して生活を送ることができるようになる。支援会議の開催にて困窮者情報を一元化し、アウトリーチ活動を行える				
課題	支援の出口の不足を感じる。制度の周知徹底(早期発見)				
R2振り返り	コロナ禍で失業者等よりの相談増加が見込まれたが、貸付のみに終わった				

就労準備支援事業(602)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	就労準備支援事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	912,000				
事業概要	自立相談支援機関と連携し、生活リズムが崩れる・社会との関わりに不安を抱えている・就労意欲が低下しているなどの理由により直ちに就労することが困難な方を対象に基礎能力を形成していく				
事業計画	週1回フリーペースを開き、就労経験を通して本人に合ったプログラムを作成し実施する				
事業目標	1年間を区切りに働くまでの土台作りを行い、就労意欲を整え就労に結びつける				
見込み成果	土台作りを行い就労意欲を高め社会参加・自己実現ができるようになる				
課題	制度の周知や対象者の発掘等 能力・意欲が低い方へのアプローチ方法				
R2振り返り	今年度は自立支援相談のなかで対象者になる方はいなかった				

家計改善支援事業(603)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	家計改善支援事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	3,600,000				
事業概要	自立相談支援機関において、経済的な問題に背景がある相談者に対して家計の視点から相談支援を行う。家計改善・家計再生プランを作成し、自ら家計を管理する意欲、能力を高め、経済的困窮より脱却できるよう支援していく				
事業計画	経済的に困窮している人を対象に訪問、相談を実施し計画を作成する。支援を作成(見える化)し、モニタリング、再プランを通して自立へと支援する				
事業目標	家計改善支援を通して、家計を管理する意欲・能力を高め、経済的困窮から脱却する				
見込み成果	収支の見直しを行うことで無駄を省き、生活を保ちながら貯蓄ができるような支援を行う。債務を抱えた方に対しては返済計画を立てることで、借金の解消が図れる。結果、安定した生活を送れるようになる				
課題	管理能力が低い方、改善意欲のない方へのアプローチ方法				
R2振り返り	家計改善が必要な方に家計相談を行うことで滞納などが解消された方もいるが、相談では改善ができずに終了された方もいた				

子ども見守り宅食支援事業(604)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者自立支援事業	子ども見守り宅食支援事業	第1層(全市)
財源	市補助金				
	8,313,000				
事業概要	勝山市福祉・児童課と連携し、市内の気がかりな子どもがいる家庭に対し、食料の提供を通じて、子どもの安否確認など子どもや家庭の状況を把握するとともに、必要に応じて生活習慣の習得支援や学習支援を行い、他機関との協同で困りごとに対応する				
事業計画	申請のあった家庭に対し、月2回食料を宅配する。宅配を通じて、状況確認や世帯からの困りごとに対応する。福祉・児童課との定期的な情報交換を行う				
事業目標	対象家庭との信頼関係の構築				
見込み成果	訪問することで、小さな変化も早期発見できる。コミュニケーションが取りにくい家庭とも繋がりを欠かすことなく見守ることができる				
課題	対象家庭との信頼関係の構築				
R2振り返り	対象家庭が多くはないが、細かい配慮を必要とする。信頼関係の構築が難しい				

老人ホームヘルプサービス事業(1601)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	老人ホームヘルプ事業	第1層(全市)
財源	県社協補助	その他(利用料)	介護給付		
	10,000	3,384,000	26,053,000		
事業概要	介護保険法に基づくホームヘルプサービスの実施				
事業計画	要介護認定を受けた方に対し、訪問介護サービスを提供する。ヘルパーの質を向上させるため、月1回の認知症や皮膚疾患・食生活などの高齢者特有の症状に合わせた研修を行い、質の良いサービス提供を行う。また、災害時の備えと、その時、ヘルパーとしてどう動くのかといった研修を重ねる				
事業目標	終末期、看取りにも対応できるよう研修(個別検討会の開催)を行う				
見込み成果	個別検討会を行うことで、クレームを少なくし、統一したサービスを提供できるようになる。安定したサービスの提供で利用の継続や新規利用者の獲得が図れる。終末期への対応ができる。大雪など災害時でも動くことができる				
課題	ヘルパーの確保 緊急時のヘルパー間の連絡方法 市内の事業所全体の質の向上				
R2振り返り	年間通して感染予防に努めた。前半は看取りへの対応が目立ったが寄り添うケアができた。コロナ禍で、ディやショートを受け入れ中止等があり、ヘルパーへの訪問依頼が増加した。後半は、大雪で利用者の冬期入所が増えた。雪害時の対応としては、二人体制での対応や訪問時の送迎を実施し、サービスが滞ることのないように努めた				

あんしんサービス事業(1602)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	介護保険サービス事業	老人ホームヘルプ事業	あんしんサービス事業	第1層(全市)
財源	その他(利用料)				
	130,000				
事業概要	施設利用の方が一時帰宅されたとき、または、介護保険対象外の方や、障害サービスで認められてないサービスを希望される方に対して、30分1,000円でサービスを提供する				
事業計画	要介護認定を受けた方や障害サービスにつながるまでの間の方に対し、サービスの提供を実施。ヘルパーの質を向上させるために月1回、認知症や皮膚疾患・食生活などの高齢者特有の症状に合わせた研修を行い、質の良いサービス提供を行う				
事業目標	適正なサービスの提供				
見込み成果	利用される方にとってより豊かな生活が実現する				
課題	ヘルパーの確保				
R2振り返り	障害サービスにつながるまでの間の利用や、介護保険では対応外となることについてサービスを提供することができた				

居宅介護支援事業(1701・1702・1703)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	介護保険サービス事業	介護予防支援 介護給付 要介護認定調査事業	居宅介護支援事業・予防ケアマネジメント	第1層(全市)
財源	市委託	介護給付			
	175,000	17,812,000			
事業概要	介護保険法に基づく計画相談、介護予防・日常生活支援総合事業に基づく予防ケアマネジメントの実施				
事業計画	65歳以上で介護や支援が必要であると認定を受けた人、40歳～64歳で特定疾患(16種類)が原因で認定を受けた人を対象に地域で安心して暮らせることを目指し、マネジメントを実施する				
事業目標	本人・家族の思いに寄り添い、安心した生活が送れるように支援する。研修等にも積極的に参加し、様々な問題に対応できるよう、スキルアップを目指す				
見込み成果	その人らしい暮らしを支援することができる。多問題があっても、他機関と協同することで世帯を支えることができる				
課題	困難ケース(家族関係の希薄・医療依存度が高い・生活困窮など)の対応 関係機関との連携 人材の確保				
R2振り返り	コロナ禍で、利用者の状態が悪化するケースが見られた。他事業所も状況・態勢が常に変化し対応に追われた。施設・病院等の面会制限で、本人・家族も不安な状況下であり、そこに寄り添った				

障害者福祉サービス事業(障害ヘルプサービス)(1801)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	身体障害者ホームヘルプサービス	居宅介護事業	第1層(全市)
財源	市委託	その他(利用料)	障害給付		
	46,000	252,000	13,774,000		
事業概要	障害者総合支援法に基づく、訪問介護事業(居宅介護サービス、強度行動援護、同行援護、移動支援)での訪問介護等サービスの提供				
事業計画	在宅で生活されている障害者(児)の方に個別支援計画に沿って、住み慣れた地域で安心して暮らせるように生活全般への支援を実施する。本人の生活スタイルに寄り添った支援の実施、併せて重度障害者への支援等必要な研修を受け、資質の向上を図る				
事業目標	住み慣れた地域での生活を継続できるための寄り添い支援				
見込み成果	ヘルパー利用者の増加と利用時間の増加。利用者の自立への意欲を引き出し、喜びを感じてもらえる。ICTを導入したことにより、調整ミスの減少・記録時間の短縮				
課題	ヘルパーの確保 必要な研修への受講と資格取得				
R2振り返り	感染予防に努めながら訪問した。親が要介護となり、障害者自身が介護者となる家族構成の中、障害者本人への支援の必要性からサービス提供となったケースが増加した。危機管理の観点からも、きめ細やかな配慮を必要とする				

計画相談支援事業(1802)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者計画相談支援	計画相談支援事業	第1層
財源	市委託	障害給付			
	95,000	3,691,000			
事業概要	障害者(児)の自立した生活を支え、障害者(児)の抱える課題の解決や適切なサービス利用へ向けて、ケアマネジメントにより支援をする				
事業計画	障害者(児)からの相談、インテーク、アセスメントから計画を立て、調整会議を実施し、初回計画から3か月と半年に1度のモニタリングにて計画の見直しなど適切な支援を行う				
事業目標	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるように本人の希望に沿いながら他機関やサービス提供者と連携を取る				
見込み成果	障害を持つ方が安心して生活を送ることができるようになる				
課題	相談員の不足				
R2振り返り	コロナ禍で、会わない配慮をし電話対応もした。相談員の不足から、依頼があっても受託できないことが増えた				

障害者生活支援センター事業(1901)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者相談支援事業	障害者生活支援センター事業	第1層(全市)
財源	市委託				
	4,720,000				
事業概要	障害を持つ方が地域で暮らし続けることを目的に適切な相談と支援を行う。兼ねて、奥越障害者自立支援協議会の運営に参画し、新たな資源の開発等を行う				
事業計画	障害者(児)、障害があるかもしれない方を対象に相談、支援し関係機関との連携を図る。また、相談から探る地域課題を浮き彫りにする				
事業目標	身近に相談できる環境を作り、必要に応じて訪問する				
見込み成果	障害者(児)、または保護者の方から気軽に相談できる場の提供				
課題	潜在ケース、停滞ケースへの積極的なアプローチが課題(センターの周知やケースを途切らせない対応が必要)				
R2振り返り	行政や、他の相談員との情報共有を図るため、毎月連絡会を開催できた。自立支援協議会でガイドブックの制作に取り組み、完成させることができた				

障害者社会参加促進事業(1902)

予算区分	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	障害者社会参加促進事業	第1層(全市)
財源	市委託	その他(参加費)			
	300,000	15,000			
事業概要	地域の中で障害を持つ方が生活しやすいように社会参加を促進する事業の展開と、家族や関係機関・地域の障害理解が進み、権利擁護できるように働きかける				
事業計画	障害を持つ方や支援者等に対し、障害者自身のスキルアップと社会参加への促進を図る。家族へは障害理解や対応方法を学ぶ機会の提供、地域へは障害理解の啓発、障害者の後見等権利擁護に関する研修の実施。毎週月・水(13:00~17:00)たまり場(誰でも集える場)の開催				
事業目標	誰もが安心して暮らせる地域づくり				
見込み成果	障害があっても住み続けられる地域づくりや社会参加の促進。気軽に外出できる場所の確保				
課題	参加者の減少による事業の見極め、事業の変換の検討				
R2振り返り	「たまり場」の利用者は減少傾向だった。一方で、毎回楽しみに利用される方もおられた				

勝山市社協成年後見サポートセンター「ささえ愛」(2100)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	法人運営	障害者福祉サービス事業	障害者社会参加促進事業	勝山市社協成年後見サポートセンター「ささえ愛」	第1層(全市)
	公益事業	成年後見事業	勝山市社協法人後見事業		
財源	共同募金	その他(後見報酬)			
	105,000	1,100,000			
事業概要	何かしら障害があっても、自分の地域で、いつまでも自分らしく安心して暮らしていくための相談・支援を行う				
事業計画	ささえ愛運営委員会の運営。日常生活自立支援事業利用者等を対象に相談や申し立て支援。法人後見人として受任を行う。また、成年後見制度の普及啓発(障害者生活支援センターと合同)のため、市民向け講座や広報等により事業の周知を図る				
事業目標	住み慣れた地域で、安心して暮らし続けるための支援を行う				
見込み成果	今後ますます本制度の利用が見込まれる。法人後見人としてささえ愛運営委員会で承認されれば、後見候補者として家庭裁判所に申し立てを行い、受任をしていく。後見報酬(収入)が見込めるケースもある。法人後見を受任することで被後見人が今までの生活を大きく変化させることなく暮らし続けることができる				
課題	後見支援員の確保				
R2振り返り	被後見人の死亡で終了するケースもあったが、新規受任するケースもあり、総受任数は変わらなかった。市長申し立てによる受任もあり、各関係機関との連携を図ることができた				

社協喫茶(2200)

事業名	拠点区分名	サービス区分名	階層名	事業名	事業展開範囲
	公益事業	喫茶会計	喫茶会計	社協喫茶	第1層(全市)
財源	その他(売上)				
	1,821,000				
事業概要	福祉健康センター「すこやか」利用者の憩いの場として、創意工夫を重ね飲食の提供を行い、経営の安定を図る				
事業計画	「すこやか」が9月末まで一般市民への貸館を中止(ワクチン接種会場となるため)することから、喫茶の利用者が減り、経営が厳しさを増すと想定される。しかし、新メニューの考案、毎日替わりでの一品を提供するなどし、少しでも収入が上がるよう、努めたい。また、周知に重点を置き、10月からの売り上げ増への工夫を重ねていきたい				
事業目標	集客のための周知、メニューの考案、テイクアウト商品等の検討				
見込み成果	周知をすることで、利用者、売り上げ増				
課題	会議等で会館使用時の際の飲食が禁止されているため売り上げ見込みが少ない				
R2振り返り	前半は会館の貸館が中止され、来館者がなかった。「すこやか」で勤務する職員も外部の飲食店への弁当発注(コロナ支援)などで利用が減少した				

よろしくお願ひします

